

藤岡こどもネットワークだより 2025 3 NO.11

【編集・発行】藤岡こどもネットワーク TEL 62-4321 藤岡公民館内

進上一巳会長あいさつ



藤岡こどもネットワーク会長の進上一巳でございます。皆様方には、日頃から青少年健全育成事業の推進にあたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

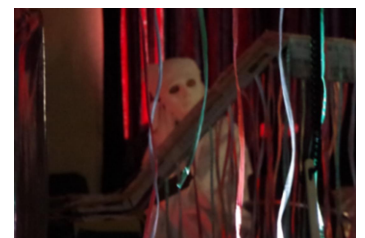
さて、本会では藤岡地域の子どもたちのより良い育ちを考え、次代を担う子どもたちが、ふれあいのある地域社会と温かい家庭の中で、たくましく生き抜く力と創造力豊かな感性を身に付け、未来に夢と希望を持ち健やかに成長していけるよう活動しています。

今後ともさらなる活動の推進に取り組んでまいりますので、皆様方には引き続き特段のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

～藤岡こどもネットワーク事業～

12月8日（日）に第3回目となる「こどもたいけんフェスタ in ふじおか」を開催いたしました。藤岡公民館、藤岡文化会館を会場に藤岡こどもネットワーク会員団体が個性豊かな17のブースを出展しました。当日は過去最多となるご参加をいただき、会場はとても賑わいました。

また、藤岡中学校の皆さんには、「中学生が教えるアイロンビーズ作り」を出展していただいたほか、受付やブース運営のお手伝いをさせていただきました。参加者からは、「おにいさんおねえさんが優しく教えてくれてうれしかった。」「家族で充実した時間を過ごせました。」「とても楽しかった。毎週開催してほしい。」といった、たくさんの嬉しいご感想をいただきました。誠にありがとうございました。



朝のあいさつ運動

★4月、11月に実施しました★

藤岡地域各小中学校の校門で登校する児童・生徒の皆さんと元気にあいさつを交わし、生活の基本となるあいさつの大切さを学ぶとともに子どもたちとの親睦を図ることが出来ました。



【藤岡小学校】



【部屋小学校】



【赤麻小学校】



【三鴨小学校】



【藤岡中学校】



渡良瀬遊水地フェスティバル巡回活動



令和6年10月6日(土)に遊水地子ども広場ゾーンで開催された「渡良瀬遊水地フェスティバル」の際に、巡回活動を実施しました。当日はあいにくの天気でしたが、子どもたちの見守りと声かけを実施し、事故等もなく、無事終了することが出来ました。こどもネットワークでは、これからも地域のイベント等で、子どもたちの安心・安全のための巡回活動を実施してまいります。



藤岡小学校 「ボランティアの皆様を支えられて」

今年度はPTA組織に「学校サポート部」が新設され、アシストネットと連携しながら、本校の教育活動を支えていただきました。

子どもたちの笑顔のために、保護者ができる範囲で気軽に参加できる活動「スポットサポーター（Sサポ）」として、多くの保護者ボランティアの皆様が積極的に参加してくださいました。プール活動見守り、運動会準備、持久走記録会の見守り等、Sサポの皆様のおかげで、子どもたちは安全に笑顔で、日々活動に取り組むことができています。

また、登下校の見守りや読み聞かせ等でも、ボランティアの皆様にはお世話になり、感謝しております。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



部屋小学校 「ボランティアさんの支援によって」

5・6年生の家庭科の授業（裁縫指導・ミシン指導）で、地域の方によるボランティアを行いました。児童は、慣れない手縫いやミシン操作に戸惑っていましたが、ボランティアのやさしい手ほどきで安全に作業を進め、作品を仕上げることができました。また、保護者の方にも授業参観時に裁縫ボランティアに参加していただきました。保護者からは、「子どもとの会話を楽しみながら、近くで学ぶ姿が見られてよかった」とコメントがありました。

今年度の9月に転入した外国籍児童に日本語学習支援を行う、通称「日本語サロン」が始まりました。その学習支援には、地域の日本人2名とパキスタン人1名があたり、児童は安心して学習し、着実に力を付けています。休み時間には、同級生と一緒に遊ぶなど、学校生活を楽しんでいる様子が見られます。

多くの方の支援を受けて、本校の児童は学びを深めています。

赤麻小学校 「地域の人々と共に歩むあかまっこ」



今年度もボランティアの皆様のご協力で、子供たちの教育活動が充実したものとなりました。今年度はさらに、6年生が総合的な学習として、「茶道体験」だけでなく、「生け花体験」もさせていただきました。ヒマワリなどを実際に生けて作品作りを楽しみながら、作法やおもてなしの精神を学ぶ貴重な体験となりました。

昨年度に引き続き、11月には、「あかまっこ体験フェスタ 2024」を開催しました。今年是一般の地域の皆様にもステージ発表や出店等でご協力いただき、よりパワーアップした楽しいイベントとなりました。

ボランティアの皆様、今年度もあかまっ子が大変お世話になりました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

三鴨小学校 「地域、保護者の支えで輝く学校、三鴨小！！」



三鴨小学校では、学校、家庭、地域が一体となって子供たちを育む活動が行われています。

水泳授業や持久走練習では、ちょこボラ（ちょこっとボランティアの略）の保護者の皆様が見守り、安心して学習できる環境を提供してくださいました。

また、家庭科の手縫い学習では、アシストネットボランティアの皆様が教室に入り、学習支援を通して子供たちの自信を育むお手伝いをしてくださいました。

サツマイモの栽培や収穫、朝のあいさつ運動、三鴨小開校120周年記念の一環として行われた五平餅作りなど、多くの地域の方々との交流を通じて、子供たちは地域社会の一員であることを実感し、ふるさとへの愛着を深めています。

異なる立場の方々との交流は、子供たちの視野を広げ、豊かな成長にもつながっています。ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

藤岡中学校 「地域の協力を得ながら」



今年度も、3名の地域コーディネーターさんと連携しながら、多くのボランティアの皆様にご協力をいただき、本校の教育活動を支援してくださいました。

新たな試みとして、藤華祭（学校祭）の講座に「伝統工芸」、「己書（おのれしょ）」を新設し、ボランティアの皆様にご指導いただきました。「伝統工芸」では、ミニヨシ灯りを制作しました。渡良瀬遊水地に生育するヨシを組み合わせることで制作したヨシ灯りは、温かみのある空間を創り出しました。また、「己書」では、藤岡地域在住の上岡太様を講師に迎え、唯一無二の自分だけの書を作りました。書き方や文字の書き順にとらわれることなく、自由に筆を走らせながら、楽しく作品を仕上げることができました。

その他にも、ボランティアの皆様には、家庭科でのミシンや調理実習の支援等、様々な場面でご協力いただきました。地域の皆様との交流は、生徒たちにとって、教職員の教えとは異なる学びを感じる場になっています。今後も、地域とのつながりを大切に、本校の教育活動を充実したものにしていきたいと思っています。

ボランティア募集

藤岡地域では「とちぎ未来アシストネット事業」として、多くの方に学校支援ボランティアとして活躍していただいております。“地域ぐるみ”で子どもたちの「生きる力」を育むため、皆様の力が必要です。例えば…「特技や学んだことを活かしたい」「読み聞かせをとおして本を好きになってもらいたい」「子ども達と話したい」「自分の体験を伝えたい」「環境美化に協力したい」…等々。

学校でのボランティア活動に興味のある方は、各学校の地域コーディネーターまたは 藤岡公民館 TEL62-4321 までご連絡下さい

地域の保育園・幼稚園の取組み

藤岡は一とらんど保育園



栃木県交通安全協会マロニエ号による交通安全教室を受講体験しました。道路の歩き方や、信号の見方、横断歩道の渡り方を講話やパネルシアター、腹話術人形の「しんちゃん」と一緒に楽しく学び、その後は遊戯室に設置した横断歩道と信号機を使って、実際に信号を見て道路を渡る練習をしました。信号の色は「赤は止まれ」「緑は渡ってもよい」「黄色は（注意ではなく）止まれ」です。いつも散歩の時にも道路の端を歩いたり、渡る時は右、左、右と確認をしてから渡っているので上手にできていましたが、自分一人で信号を判断して渡るということに緊張している姿もありました。これからも交通安全に十分注意しながら散歩や遠足など戸外での活動も楽しんでいきたいと思います。

年長児は4月から小学生です。保護者と一緒に車で登園している今と違い、歩いて通学班での登校となります。学んだことを実践して元気な一年生になってほしいと思います。

ふじおか幼稚園



今年初めての試みとして、園を会場に『こども未来フェスタ』を開催いたしました。こども未来フェスタは子育て世代の支援と地域をつなぐ役割を担った大規模なイベントとなりました。当日は80以上のキッチンカーなどの飲食をはじめ物販、幼児体育プログラム、英会話、華道、制作あそびなど親子で楽しめるワークショップブースの出店者の協力をいただき、5,000人以上の来場者が来ていただきました。特設ステージを用意して最新のヒーローと握手会を実施し、多くのこどもたちが目を輝かせ、たくさんの笑顔が溢れていました。

こども未来フェスタは単なる1日限りの楽しいイベントではなく、こどもたちの未来を明るいものにしたいと願う『地域』『社会』『企業』を繋ぐ架け橋のようなイベントに今後もしていきたいと考えています。これからも子育て支援の為に様々なイベントや活動をしていきたいと思っています。

バンビ幼稚園



子どもたちに絵本の楽しさを知ってもらいたい、という願いのもと『ひらいてワクワク めくってドキドキ 本のたんけん に しゅっぱーつ!!』と題し、各クラスで絵本を選び、絵本の世界を体験できる環境を、子どもたちと話し合いながら作る“ごっこ遊び”を行いました。「いちにち こんちゅう」の絵本のクラスでは、ムシの動きを真似て、ムシの世界を楽しみました。「からすのパンやさん」の絵本のクラスでは、小麦粉粘土を使ってパン作りを行いました。また給食室とも連携を取り、絵本に出てくるメニューを再現し、“食”からも絵本に親しみました。一例として、「11 ぴきのねことあほうどり」の絵本に出てきた「ほくほくの手作りコロッケ」などです。

この絵本の活動を通して、絵本の中には無限の世界が広がっているという面白さを、存分に味わうことができたと思います。

〔藤岡こどもネットワーク協力団体18団体〕

(令和7年1月現在)

藤岡シティ青少年健全育成推進部会、藤岡地区民生委員・児童委員協議会、栃木保護区保護司会藤岡地区会、栃木市更生保護女性会藤岡地区、とちぎ未来アシストネット藤岡地域教育協議会、藤岡地域小中学校長会、栃木市社会福祉協議会藤岡支所、藤岡地域自治会連合会、藤岡地区スポーツ協会、藤岡地域少年補導員会、藤岡子ども会育成会連絡協議会、栃木市PTA連合会藤岡ブロック、藤岡地域幼稚園、藤岡地域保育園、どーなっクラブ、ふじおかおはなし会コロボクル、藤岡文化団体連絡協議会、藤岡ネットワーク推進員（順不同）